

## 海洋理工学会 平成8年度 秋季大会

期 日:平成8年10月8日(火)9日(水)

会 場:千葉大学 けやき会館(千葉市稲毛区弥生町1-33)

主 催:海洋理工学会

共 催:千葉大学環境リモートセンシング研究センター

協 賛:日本海洋学会, 日本水産学会, 日本気象学会, 日本造船学会, 日本機械学会, 応用物理学会、海洋調査技術学会, 電子情報通信学会, 電気学会、計測自動制御学会, テレビジョン学会,

参加費:一般3,500円, 一般学生2,000円, 正会員1,500円, 学生会員1,000円

プログラム:

10月8日(火) 13:00~17:30 公開講座

### 公開講座 「衛星モニタリングと地球環境」

コンビーナ:新藤静夫(千葉大環境リモートセンシング研究センター長)

住 明正(東大気候システム研究センター)

杉森康宏(海洋理工学会会長)

- |             |                         |                                 |
|-------------|-------------------------|---------------------------------|
| 13:00~13:10 | あいさつ                    | 新藤静夫(千葉大CEReS)                  |
| 13:10~14:00 | 「宇宙からの地球情報」             | 坂田俊文(地球科学技術推進機構長, 東海大情報技術センター)  |
| 14:00~14:50 | 「衛星観測と気象」               | 浅井富雄(海洋開発審議会会長, 千葉大CEReS)       |
| 14:50~15:40 | 「衛星海洋学と地球環境」            | 杉森康宏(海洋理工学会会長, 東海大海洋, 千葉大CEReS) |
|             | 休憩                      |                                 |
| 15:50~16:40 | 「ネットワークに基づく衛星データセンター構想」 | 高木幹雄(テレビジョン学会会長, 東大生産技術研究所)     |
| 16:40~17:30 | 「地球科学研究の新しい動き」          | 松野太郎(気象学会会長, 北大院地球環境)           |

10月9日(水) 10:00~17:00 シンポジウム

シンポジウム「海底観測と音響技術」

コンビナー: 竹内俱佳 (電通大) 徳山英一 (東大海洋研)

[1] 海底観測

- 10:00~10:30 いざなぎ (サイト・スキャナー) による日本周辺の海底イメージング調査  
徳山英一、山本富士夫、末広 潔、平 朝彦 (東大海洋研)
- 10:30~11:00 TAMU 2 (サイト・スキャナー) による東太平洋海膨の海底画像  
岸本清行 (地質調査所) トム・ヒルデ (テキサスA&M大)
- 11:00~11:30 合成開口手法を用いたマルチビーム音響測深  
浅田 昭 (水路部) 植木俊明 (三洋テクノマリン)
- 11:30~12:00 マルチチャンネル音波探査データの処理-コヒーレント・ノイズの低減化  
天野 博 (石油公団/海洋科学技術セ)
- 12:00~12:30 深海曳航式三成分磁力計の開発  
伊勢崎修弘 (千葉大理) 島 伸和 (千葉大院)

[2] 音響技術

- 13:30~14:30 特別講演「移動体精密位置決定技術」 瀬川爾朗 (東大海洋研)
- 14:30~15:00 海底近接域水温測定技術 西村清和 (地質調査所)
- 15:00~15:30 海底堆積物中の音波伝搬 木村正雄 (東海大海洋)
- 休憩
- 15:50~16:20 音響ホログラフィを用いた3次元映像技術  
石原知明、高野 宰 (三井造船昭島研)
- 16:20~16:50 区分開口合成技術 関口 治 (日立製作所)
- 16:50~17:30 総合討論  
話題提供者 堀田 宏 (海洋科学技術セ)  
竹内俱佳 (電通大)  
徳山英一 (東大海洋研)